



Jump Up Women

ワーキンググループ

SAGA WG

2019年度活動報告
2019.04 ~ 2020.03

“女性の活躍推進佐賀県会議”とは、

女性の社会進出を考え、女性とその柔軟なセンスを発揮し、日本経済において活躍することができる社会の実現のために経済団体、地域社会が一体となって取り組むプロジェクトです。

女性の活躍推進佐賀県会議の取り組みを進めるため、県内各企業から集まったメンバーが

Jump Up Women SAGA（ワーキンググループ）を組織し、「重点活動項目」に資する事業についての検討や調査、自己研鑽など、経済界のリーダー（企画委員会）の下、核となり活動しています。



▲ 第5期ワーキンググループメンバー

会員数・自主宣言数が
年々増加しています！

登録数

311

2020/1/31
現在

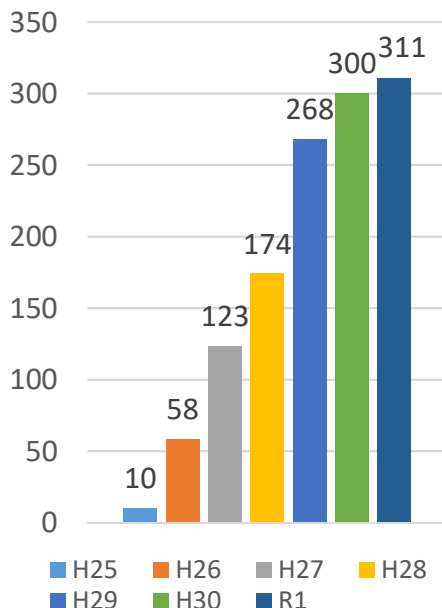
● 年度別登録数一覧

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019※	合計
会員登録数	10	48	65	51	94	32	11	311
自主宣言登録数	0	0	39	38	40	28	5	150

※2019年度は2020.1.31時点

● 業種別登録数

業種	合計
建設業	106
製造業	29
卸売・小売業	23
サービス業	21
医療・福祉	15
情報通信業	13
金融・保険	15
行政	13
個人	14
CSO	11
その他	51
合計	311



月	ワーキング活動
4月	4/19 WG第5期生発足 (第1回WG)
5月	1年間のWG活動の概要を決定し活動を開始
6月	6/21 セミナー内容の決定、アンケート項目の決定 (第2回WG)
7月	7/17 イクボスセミナー受付、聴講 (第3回WG)
8月	8/22 セミナー開催 (第4回WG) (テーマ アンコンシャスバイアス 講師 (株)アテンド 福成 氏)
9月	アンケート集計・分析
10月	10/18 グループごとの解決策について議論 (第5回WG)
11月	グループごとにリハーサルに向け活動
12月	12/5 活動成果発表会に向けたリハーサル、討議 (第6回WG)
1月	グループごとに発表会に向け活動
2月	2/10 R1年度 活動報告発信 2/21 WG活動成果発表会(グランデはがくれ) (第7回WG)
3月	3/6 「SAGAなでしこ異業種交流会2020」

2019年度 WG 活動報告

4/19

<第1回ワーキンググループ> 「第5期生発足」 一年間のWG活動の概要を決定し活動を開始

「事務局より本年度の活動目的について」

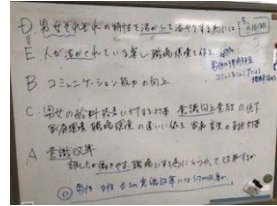
女性の活躍推進佐賀県会議は女性が社会で自分なりの活動ができる社会の実現に取り組んでいます。

その中で、WGメンバーは1年を通じて女性活躍推進に何が必要か企画委員へ提案をしていく活動を行っています。

今年度は体制を新たに、女性管理職や管理職候補の方に参加いただき、自分達、後輩達が活躍するためには何が課題で解決策は何かを話し合いました。WGの最後には企画委員へ提案を行うこととなります。参加者の皆さんのスキルアップやネットワークの拡大等につながるよい機会になれば幸いです。また、何かを得るために積極的にWG活動に関わっていただきたいと考えています。

本年度のテーマは「男性、女性、各々の意識改革には何が必要か」に決定。

第1回目の会議は、前年度からのメンバーの近藤氏、山田氏がファシリテーターを務め、一年間のスケジュール、昨年度の取組について説明を行いました。グループ討議、全体討議を経て、本年度取組みたいテーマ、2月の成果発表会に向けた活動内容とスケジュール、各回の準備委員を決定しました。新しいメンバーも多く、会議がスムーズに進行するのか心配していましたが、盛りだくさんの協議事項について活発に意見が飛び交う様子に、2月の発表会が楽しみになりました。



女性の活躍推進佐賀県会議
事務局

6/21

<第2回ワーキンググループ> セミナーテーマ・アンケート項目の討議



▲佐賀県庁地下1階
SAGA CHIKAにて

ワーキンググループ第2回の会議は、第1回に引き続き佐賀県庁地下1階のSAGA CHIKAで開催しました。

第1回で決定した今年度の取組テーマ

人が活かされている楽しい職場環境をつくる
「男性・女性各々の意識改革には何が必要か？」

から見えてくる課題と解決策を導き出すため、セミナー内容・登録企業へのアンケート項目の内容について討議を行いました。

2回目の会議という事もあり、環境や年代や役職も異なる様々なグループメンバーも、以前より気心も知れ和気あいあいとした雰囲気の中、たくさんの意見が出揃いました。

見えてきた課題の解決法として
「アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）についての知識を身に付ける」
セミナーを第3回の会議で受講する事に決定しました。

佐賀東信用組合 八木

8/22

<第3回ワーキンググループ> 『アンコンシャス・バイアス』セミナーの開催


今年度のWG取組テーマ『人が活かされる楽しい職場環境をつくる 男性・女性各々の意識改革に何が必要か?』に基づき、各グループの課題解決のために“アンコンシャス・バイアス”についてのセミナーを行いました。場所はアバンセ第4研修室 講師は『株式会社アテンド 福成有美 代表』にわかりやすいセミナーを行っていただきました。



このWGに参加して初めて耳にした言葉 “アンコンシャス・バイアス” (“アンコン”) そういわれてみれば無意識に自然とそう感じてしまう、考えてしまうという事が多々あります。それが、その人の個性を形成する要素の一つになっているものもあるかもしれませんが問題なのはそれがマイナスの方へ働くことがあるということです。

- ◆ アンコンは誰しもが持っているもので無くなりはいらない
- ◆ アンコンを知ったうえで、佐賀の女性活躍のために何ができるのか
- ◆ アンコンとどう向き合っていくのか、他人の価値感に触れる、メタ認知 (客観的に自分をみる)をもつ

私たちはこれまで当たり前だった「まとめて」の一斉管理から卒業し、ひとりひとは違うから「1対1」を大事にし、アサーティブ・コミュニケーション(お互いを尊重しながらも自分自身の意見や気持ちを適切に表現すること)が重要だということ、“アンコン”に自覚的であり『内省』し『対話』しよう、相手がどう感じているか、何を期待しているか聞いてみないとわからない。同様にがまんするのではなく、発信しないと伝わらない、自分を開く事が大事だということを学んだセミナーでした。

 (有)寺崎資材工業 高塚

10/18

<第4回ワーキンググループ> 『女性が働き、活躍することに関する意識調査』について発表

7月に『男女の意識改革に何が必要か?』を調査する一環として佐賀県下で働く749名の方にアンケートを実施、10月18日のWGにてアンケート結果を発表しました。

【アンケートの項目】

- ①『女性活躍推進』についての男女それぞれの感想
- ②女性が活躍しにくい環境や周りの考えとして何があるか?
- ③職場にロールモデルがいるか?
- ④管理職となり活躍したいか?
- ⑤男女平等でないと感じることはあるか?
- ⑥結婚・出産を経ても今の仕事を続けたいか?
- ⑦家庭内の家事分担について
- ⑧仕事にやりがいを感じる時はどんな時か?

以上の8項目について実施しました。

【アンケート結果】

『女性活躍推進』について男女合わせて約9割以上の方が好意的な受け止め方をしている反面、多くの方がいまだに会社や社会、家庭において男女平等ではないと感じていることが判明しました。

また、『女性が活躍しにくい環境』については、『制度はできつつあるが環境が整っていない』など男女とも制度はあっても利用しにくい、制度がよくわからないなどの意見が多数みられました。

『管理職となり活躍したいか?』については、男性は約5割が『なりたい』と答えたのに対し、女性は3割にとどまる結果でした。


『結婚・出産を経ても今の仕事を続けたいか?』については約7割の女性が今の仕事を続けたいと回答しました。

『家事分担の割合』については男性の分担割合は、平均2割、女性は平均8割との結果で、まだまだ女性の家事分担割合が高いことが証明されました。

以上の結果から、『女性の活躍推進』について男女とも好意的に受け止められているが、男女平等な社会の実現には至っておらず、女性の家事負担の多さや、社会や、会社、家庭で感じる男女不平等が、女性活躍推進の足かせとなっているのではないかと推測されました。

今後WGではこのアンケート結果をもとに『人が活かされる楽しい職場づくり』に何が必要であるかを提案する予定です。



 三井住友海上火災保険(株) 座木

2019年度 セミナーのご紹介

7/17

女性の活躍推進セミナー

『イクボスで企業は変わる！～女性が活躍できる職場、社員を活かす上司～』

NPO法人ファザーリングジャパン 安藤哲也氏と川島氏を講師としてお招きして管理職向けの講演会が開催され、ワーキングメンバーは受付業務を担当しました。

第1部は、お二人のご経験を織り交ぜた講演会、第2部のパネルディスカッションでは、佐賀さいこう表彰を受賞された田島氏と木村氏にもご登壇いただき『イクボス』としての想いを語っていただきました。イクボスのみなさんは、仕事と家庭以外に地域活動にも非常に熱心で、それが仕事に活かされているのがお話の中でよくわかりました。

今回のセミナーは、「働き方改革」「ワークライフバランス」「女性活躍」の関連性や必要性について考える良いきっかけになり、佐賀のイクボスとしての第一歩になると思いました。



NPO法人ファザーリングジャパン 代表
安藤 哲也氏



NPO法人ファザーリングジャパン 理事
川島 高之氏



▲受付をするワーキングメンバー

九州電力(株) 成尾

佐賀さいこう表彰

セミナーの前に佐賀さいこう表彰が行われました。佐賀さいこう表彰とは、顕著な功績があった佐賀県ゆかりの個人・団体等に対し、その功績を顕彰することを通じて、当該個人・団体等の認知度向上及びイメージアップや、活動のさらなる活性化を図るとともに、県民がそうした個人・団体等の実績や県に誇りを持つことを目的としています。



▲写真左から、松尾聡子氏、福成有美氏、山下千春氏、山口知事、木村剛氏、田島みゆき氏

女性活躍推進部門は、身近な活動を通じて住み良い地域づくりに貢献している女性など日々チャレンジをしている女性、さらに、このような女性を支える人々や団体等を対象としており、日々の活動を顕彰するとともに、女性の活躍を支援し、県内における女性活躍の一層の推進を目指しています。

今回は、佐賀さいこう表彰の一部門である女性活躍部門において、以下5名の方が受賞されました。

受賞者のご紹介

●(株)バース・プランニング 代表取締役 松尾聡子氏

加唐島に自生する天然のヤブツバキから搾った油を美容に生かそうと、無添加せっけん「ツバキサボン」を商品化。その石鹸がジャパンメイド・ビューティアワード優秀賞を受賞。今では島の活性化等にもつながり、地元への貢献も大きい。女性活躍のロールモデルになりうる活動をされていることが評価されました。

●唐津土建工業(株) 総務部課長 木村剛氏

女性活躍を推進するため、女性が能力を最大限に発揮できる職場環境整備に取り組んでいる。女性技術者の採用につながり、男性も女性も働きやすい職場づくりにもつながっている。社としてはくるみんの認定を受け、えるぼしの取得に向け働いている。また、講演会等で女性活躍の取組について話すなど啓発にも貢献していることが評価されました。

●(株)アテンド 代表取締役社長 福成有美氏

佐賀県男女共同参画推進審議委員を3期務め、佐賀県男女共同参画推進計画や佐賀県DV被害者等支援基本計画の策定にも携わられました。また、佐賀県女性の活躍推進会議の企画委員も務め、県内企業の女性活躍を支援されている。女性活躍推進関係等の講師も多数務められ、女性活躍推進に広く貢献され、自らも活躍されていることが評価されました。

●田島興産(株) 専務取締役 田島みゆき氏

自らも子育てをしながら仕事をする大変さを経験し、女性活躍推進と人材育成に取り組んでいる。時短勤務やフレックスタイムを導入するなど、働きやすい環境整備も進めた。さらに、県で取り組んでいる「働きたいけん」を活用し、子育て中の女性を積極的に採用している。多忙な中でも月に一度面談を設けるなど、社員の想いに耳を傾け、女性活躍を推進していることが評価されました。

●オヤモコモ 代表 山下千春氏

女性の活躍に不可欠な育児支援、キャリアアップ支援、子供の健全育成など多くの重要な要素を軸に活動している。また、そこで生まれたアイデアを商品化するなど、子育ての経験を生かしたチャレンジを実践している。さらに、起業の体験をセミナー等で語り、女性の働き方の提案を行うなど女性活躍の推進にも多方面から寄与していることが評価されました。

(株)ジェピック 岩永

あしがき（2019年度活動の振り返り）

第5期WGメンバーの感想

- ・ 様々な方々との意見交換の場があることは非常に有意義でした。(岩本)
- ・ このWGで出会った方々から、いろんな刺激を受けました。この経験を今後活かしていきたいと思えます。(成尾)
- ・ 我々の活動が、何かしらの“きっかけ”になれば幸いです。(小野原)
- ・ さまざまな業種のWGメンバーと一緒に同じテーマについて考え、作業を進めることで、自分にはなかった発想や考え方に触れ、自分自身が成長することができました。(川崎)
- ・ 異業種の方とお会いして、それぞれの立場での考え方、意見を聞くことができて大変有意義でした。(鳥谷)
- ・ 仕事では得られない刺激を受ける貴重な機会でした。自分のキャリアを見直すきっかけにもなりました。(山口)
- ・ 本活動を通じ、様々な業種の方々と交流ができました。良い刺激をいただきました。ありがとうございました。(山崎)
- ・ 1つの目標に向けてグループで協力し、大変な事もありましたが、その中で世代や業種を超えて結束力が生まれ、親交が深まりました。(八木)
- ・ 仕事上で深く考える機会のないテーマで、異業種のメンバーと深い議論ができたことは良い経験となり、視野を広げることができました。(近藤)
- ・ WGは全員が主体的に参加し、意見を積極的に交換でき、とても良い経験になりました。この活動内容が1人でも多くの方に伝わり、女性活躍に繋がることを期待します。(岩永)
- ・ 色々な職業のみなさんと交流できてとても参考になり楽しく有意義な時間となりました。(古川)
- ・ 同じ佐賀県で働く様々な業種の方と交流ができて、色々な考え方を伺い、とても勉強になりました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(井上)
- ・ 本年度のWGは、なかなか参加できませんでしたが、各グループに分かれて課題に取り組む事により、全員が責任を持って参加出来たことが大変良かったと思います。(松尾)
- ・ さまざまな会社の女性リーダーと出会い大変刺激を受け、皆さんの朗らかさに感謝しました。よい出会いができて本当に良かったです。(高塚)
- ・ それぞれ違う職種の方との出会いが私達を成長させてくれたと実感できた日々でした。この出会いを、他の頑張っている佐賀の女性に広げていきたいと思えます。(大坪)
- ・ 与えられる者を目指した一年。対話を重視し、視野を広く持とうと心掛けて参りました。ゴールは女性活躍だけではありません。全ての人が生きやすいと感じられる世の中に (山田)
- ・ この1年間WGに参加し、地元企業の女性管理職の方と『働きやすい社会の実現』について真剣に考えました。この結果を自身の会社でも展開し、より一層女性が活躍できる社会が実現できるよう活動していきます。(座木)
- ・ グループ発表では各自が違う立場で当事者意識をもち考えるという事はお互いの意識向上になり非常に刺激を受けました。(田町)

Jump Up Women SAGA活動成果発表会のご案内

第5期メンバーの1年間の活動成果発表会を開催します。
ぜひ御出席いただき、メンバーの1年間の活動成果を御覧ください。

日時 令和2年2月21日(金) 15:00~16:15
会場 ホテル グランデはがくれ 1階 ハーモニーホール
(佐賀市天神2丁目1番36号)

メンバー募集!!

女性の活躍推進佐賀県会議

Jump Up Women SAGA (ワーキンググループ)

第6期メンバー(定員20名)を募集します。

《募集概要》

- ・ 対象者 県内企業・団体に働く管理職又は管理職候補の女性
- ・ 任期 令和2年4月~令和3年3月
- ・ 開催頻度 2か月に1回程度開催
(原則偶数月第3金曜日 15:00~17:00)
- ・ 開催場所 主に佐賀市内
- ・ 申込先 女性の活躍推進佐賀県会議事務局
(佐賀県男女参画・女性の活躍推進課内)
TEL: 0952-25-7062 FAX: 0952-25-7338
メール: danjo-katsuyaku@pref.saga.lg.jp



ご応募いただいた方から、業種や地域バランスによりメンバーを選定させていただきます。

第5期ワーキンググループメンバー

唐津土建工業(株)	岩本 伎未
九州電力(株)	成尾 瑞穂
(株)佐賀銀行	小野原 結理
(公財)佐賀県女性と生涯学習財団	川崎 みどり
佐賀県中小企業団体中央会	鳥谷 純子
(株)佐賀新聞社	山口 敬子
(株)佐賀電算センター	山崎 智子
佐賀東信用組合	八木 美樹
JSRマイクロ九州(株)	近藤 みのり
(株)ジェビック	岩永 真紀子
医療法人静便堂 白石共立病院	古川 節子
損保ジャパン日本興亜(株)	井上 靖子
大樹生命保険(株)	松尾 さとみ (2019.12.31時点)
(有)寺崎資材工業	高塚 善美
西日本総合コンサルタント(株)	大坪 真由美
松尾建設(株)	山田 美乃里
三井住友海上火災保険(株)	座木 博子
リコージャパン(株)	田町 幸子

(社名五十音順)